ワープロソフトを使った課題、レポート、アサイメント提出の基本

2002/10/05 新聞学科 鈴木雄雅

1. フォーマット(A4、B5用紙縦紙に横書きの場合)

左上部に 科目名、教員名

右上部に 提出年月日 学生番号(所属学科名) 氏名

以上5行以内に間違いがないよう十分に注意すること

次に、上下1行余白をして、課題タイトル(テーマ)を。

課題タイトルやテーマは教員の指示に従ったほうがよい。

以上は表紙の部分に相当する。ただし、ブックレポートやブックレビューの場合、該当書籍の情報(著者『書籍タイトル』、出版社、出版年、総頁数)なども表紙部分、課題部分に入れる。

1枚、あるいは表紙には頁数を入れる必要はないが、2頁以上になる場合は頁数の挿入と、 左上部ホチキスとめ(縦書きフォーマットは右端) クリップとめ をする。

	200×年	月×日
授業名		
担当教員教授		
	学生番号:A×××(学科)
	氏 名 :	
1 行あけ 		
	夏タイトル (テーマ)	
1行あけ		
本文(1字下げ)		
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • •
76/2 / A 🗁 T L 18 \	••••••	
改行(1 字下げ)		
•••••	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • •
•••••	•	
	壹/4/年 /年 M.C.四	40 F 🗝
	字/1行× 行 MS明朝	10.5 小
- 1 - (2 枚以上は頁数を記入)		

2. 本文注意

基本的には<u>明朝体に準じるフォント</u>を用い、強調や英文などの場合、イタリック体、下線、太字などのフォントを使い分ける。とくに全文をB、G(ボールド、ゴチック)にしてはならない。

標準は 10.5 ポ程度を使い、10 - 11 ポを使ってもよいが、それ以下、以上は原則、注や 見出しなどに使う。 指定や指示がない限り、雑誌つくりのような感覚で、アサイメントは提出しないほうがいいだろう。

A4 判サイズの場合、10.5 明朝体で 1 行 40 字×46 行程度(MSワード、最大原稿用紙換算 4.6 枚)かける。枚数や指定に臨機応変に対処すること。読みづらい、読みにくい(字間、行間が詰まりすぎ。上下、左右余白がない)フォーマット、割付にはしない。A4 判で 400 字 3 枚程度の量があれば、1 枚につき最低でも 2 - 3 段落はとること。4 - 8 段落程度あってもよい。

改行、段落とりは左1字分をあける。左揃えはしない。

・不要な 1 行あけ (スペース) は 避ける。

句読点は「、」「。」を使う。アルファベット、数字、記号を使ったあと「,」に自動処理される場合に注意。

英文文字、数字は基本的には半角扱いとする。

Rupert Murdoch 2,356 www.sophia.ac.jp

例外的に全角扱いしてもよいものは

UN JETRO NHKなどの略称になっている組織や団体名 など

注については1頁ごと(頁下)の脚注か、最後の頁に一括して明示する。参考文献は最終頁末とする。

- <例 > 1)磯部佑一郎『イギリス新聞史』(ジャパン・タイムズ社、1984年)、55ページ。 昭和 59年 1984年、55ページ 55 頁または p.55 としてもよい。 p.21/pp.25-36.とはするが、P.25/PP.25-36.とはしない。
 - 2) J.C.Merrill, Global Journalism: A Survey of the World 's Mass Media (New York & London: Longman, 1983), pp.174-75.
 - or J.C.Merrill, Global Journalism: A Survey of the World 's Mass Media (New York & London: Longman, 1983), pp.174-75.

ホームページを参考にした場合は、原則次のような引用明示をする。

オンラインのソース (例えばウェブ・WWWに掲載されているもの)についての引用は、一般の論文引用に準ずること (以下の例を参照)。著者、論文のタイトルに続いて (オンライン)、ウェブのアドレスを記入すること。最後に、情報のソースにアクセスした日時を必ず記入すること。

<例>

関根政美「関根研究会論文執筆要綱」http://www.law.keio.ac.jp/~sekine/bdp.html (1999年10月1日)。

Gill, J. (1995, June). "Communications and Disintermediation," [Online]. Available http://www.casti.com/gill/presentations/medicus.html [1996, November 14]

以 上